

第3回 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会

議事要旨

開催日：2025年8月26日（火） 19:00～21:00

開催場所：清瀬市生涯学習センター講座室1

出席者：別添出欠簿のとおり

1. 開会の挨拶

○松本会長より挨拶

- ・本日は全5回のうち、第3回である。本日の主題は次第の5～7番である。まずは前回いただいた沢山の意見を振り返り、本題に入る。また、次回はビジョン素案を見ていただく予定である。【松本会長】

2. 資料確認並びに本日の流れについて説明

○事務局より資料の確認・説明

3. 第2回会議録の公開について

- ・前回の会議録はメール・郵送にて共有したが、再度ご確認いただき、問題なければ後日市のHPに掲載する。【事務局】

4. 前回の振り返り

○事務局より資料の説明

- ・資料1の3ページについて、前回の議論の様子を写真に収めている。資料はHPに掲載予定のため、不都合がある場合は後ほど申し出ていただきたい。【事務局】
- ・意見の書き漏れなどご指摘はあるか。今後ビジョン策定に繋がる内容であるため、気づいたことがあれば発言いただきたい。【松本会長】

⇒意見なし

5. 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン骨子の説明

○事務局より資料の説明

- ・未来構想ビジョン骨子を踏まえ、具体的にビジョン素案へどのように反映していくかは今後整理を行う。「まちづくりに必要な取り組み」については前回の協議会に踏まえて現在事務局で整理中のため、後日お示しする。【事務局】
- ・不足があればご意見いただきたい。【松本会長】

⇒意見なし

- ・概ねご理解いただけたということで進行する。【松本会長】

6. 清瀬駅周辺のまちづくりの将来像について説明・議論

○事務局より資料の説明

- ・「清瀬の玄関口」という言葉が使われているが、外から来た人だけのような印象を持つ。市民が駅周辺へ行かないことが問題の一つだと思うので、「清瀬の玄関口」という言葉は不適だと考える。【委員】
- ・おっしゃる通り、清瀬駅は清瀬の中心ではあるが、玄関口ではないかもしない。住んでいる人にとてどうなのか、の視点が大事だと認識している。【松本会長】
- ・住んでいる側から見ても、駅を使う人からみても、ホッとするというのは当然のことかなと思う。病院のまちから脱却するのではなく、それを活かして未来にどう繋げていくか。第二踏切の近くに小さなコーヒー屋などができる、少し雰囲気が変わってきた。ホッとする場所や自分の趣味にあうコー

- ヒー店や洋服店、魚屋などがニーズに合っている気がする。盆踊りに西武沿線から遊びに来る人もいて嬉しかったが、それをどういう表現で表せばよいか悩ましい。沿線からも来ているので、それをどういう表現でまとめればよいか、ヒントはあると思う。【委員】
- ⇒新宿や所沢をつくるわけではなく、程よい感じをつくりたいということだと思う。【松本会長】
- ・医療のまちは今後も続くので何らかの形で入れてもらえるとよい。575 でないが、読んでいて覚えやすいような言葉がよいと感じた。【委員】
- ⇒単純に医療だけでなく、「健幸」と表現していることは次のステップだと思う。【松本会長】
- ・「健幸」という言葉は「安心」の中に入る。「にぎやか」は「笑顔」に入ると思う。これらの 3 案の中でみるのであれば「安心、快適、にぎやか」が一番ドンピシャかと思った。「玄関口」という言葉でなくてもいいと思う。交流人口を増やすという意味では「玄関口」はいい言葉かもしれないが、住んでいる人達からするとあまり適切ではないかと思う。この表現だけ変えることができれば案①がいいと思う。【委員】
 - ・3 案を見たときに標語のイメージを持った。自分が清瀬に移住した理由は、東京なのに時間の流れがやさしく、またたりとしているところがポイントであり、清瀬がいいまちだと思ったからである。他地域ではせかせかしてしまう。【委員】
- ⇒先に出た意見ののんびりできるカフェの話のようなイメージと同じ印象を持った。【松本会長】
- ・「安心」「快適」「にぎやか」なので、「安心」「快適」をひらがなで伝えられるほうがよい。「おだやかで」などにしたほうがよい。「玄関口」も漢字だと固いイメージを持つ。ひらがなにするとどうか、「まどぐち」だとどうなのか。あまり変える必要はないが、ちょっと変えるとより良くなると思う。【委員】
 - ・あくまでも駅周辺のコンセプトであるならば「健幸に暮らす」や「安全に暮らす」は市全体のコンセプトだと思う。駅周辺ならば、「人中心の賑わい」や、「いろんな人との交流」など、玄関口というよりは住民の方にとっての舞台、主役になれるようなものが良いと思う。【委員】
 - ・清瀬のイメージでやるのか、駅周辺のイメージをつくるのかはっきりする必要がある。「みどりにふれ」は駅周辺ではないと思う。玄関口もよいが、例えばゲートウェイはどうか。清瀬の駅周りをどうするのかというキーワードにする必要がある。そうすると「安心」「快適」「にぎやか」だと思った。【委員】
 - ・「みんなでつくる 安心・快適・にぎやかな 清瀬の発着点」はいかがか。【委員】
- ⇒今回は駅周辺のまちづくりの話である。市全体の話は第 5 次長期総合計画に記載されている。駅とその周辺を含めたビジョンということを意識し、市全体の話との対比で駅のことをどう考えるかということになる。【松本会長】
- ・「安心」「快適」「にぎやか」は古いイメージである。高齢者が増えていく中で、若い人を呼び寄せなければならない。若い人が魅力的と感じるような言葉づかいにしてもらいたい。【委員】
 - ・「ふるさと清瀬駅」のような、ストレートな感じでもよいのか。駅という単語を言っていいのか。対象が市に見えてしまうのであれば、単純に駅に変えればいいと思った。【委員】
- ⇒どういう場所にしたいかというイメージをもっと共有できるといい。「安心」「快適」「にぎやか」もいいが少し違うかもしれないし、「にぎわい」というのは駅周辺で多くの人に集まってほしいという意味が入っているがそれをもっと上手にアピールできるとよい。思い付きがあればお寄せいただきたい。色んなキーワードを出し、整理しながら作成を進める。【松本会長】

7. 市民参画のまちづくりについて意見交換

- 事務局より資料の説明
- 意見交換
 - ・南口と北口の商店街は以前、30~40 代の交流を深めていたが、今は人数が少なく行っていない。【委員】
 - ・人が高齢化していない。30 年くらい前はお店もたくさんあり、お祭りをやるにしても 30 人程いたが、店をやめたり亡くなったりしている。消防団も 7 つ分団があり 1 分団につき 20 人ずつだったが、今は 7~8 人である。それで駅周辺をどうしようかといつてもなかなか難しい。南口は車で行けず不便である。行くとしても、飲みに行くくらいだろうか。お金がないのに南口を開発するといつても、どうするのだろうと思う。【委員】

⇒民間の力を借りるなど、やり方はたくさんある。魅力が高まればできることが増える。【委員】

 - ・北側は再開発されて 30 年経つ。南側はすごく住みやすいと思う。従って、もっと良くなり、次の世代にもっといいまちにしてもらいたい。道も狭く、自転車・歩行者も溢れているため、ここに住んでいる人たちでもっとよくする。駅舎も西武沿線で一番古い。新しくなればまた次の世代で新しい発想

もできるのではないか。我々がここで考えておかなければ、10年20年と先延ばしはすると大変である。【委員】

⇒下北沢駅小田急線の高架と駅前のまちづくりに携わったが、2005年頃に世田谷区で都市計画決定し、20年以上かかった。まちづくりは簡単にものが動くわけではないが、それでも誰かが始めないと何も動かない。ここで方針を決めるということはすごく意味がある。副会長がおっしゃったとおり10年・20年先の次の世代へのスタートになると思っている。昔は、エリアプラットフォームなどがない時代に、自治会で話し合ったり区が関わり詰めていたりしたが意見があわず、都市計画審議会で全部ひっくり返ったりした。そうやって20年くらいかかる。そのような、長い話ということに留意して話し合っていただきたい。【松本会長】

⇒商店会同士、お互いに長年協力しながら商店街運営をしている。【委員】

⇒商店会だけではなく、他の業種などが関わるようになるとまた違った見方・やり方がでてくると思う。農家さんは直売所をやっているが、駅のあたりでマルシェを行うなど可能性はあるか。【松本会長】

⇒駅近で行いたいと思う農家はいると思う。実際南口で行っていることもある。スペースと仕切りさえできれば行いたいだろうが、実際、今の北口で行うのは難しい。もしスペースがあれば行いたい人は必ずいると思う。【委員】

- ・某マンションで1~2年前から毎週土曜日に野菜を売りに来てくれている。あの辺はお店がないので、喜ばれていると思う。【委員】

- ・JAが建て替えをしており、直売拠点となっている。イベントでキッチンカーを呼んでPRをしているが、駅からは遠い。駅前で行おうと思うと、スペースが難しいと思う。ロータリーをせき止めるなどしないとできない。【委員】

- ・昔、JAが北口のけやきホールの脇で曜日を決めて直売を行っていたことがある。【委員】

⇒清瀬市は農業が盛んなため、他都市へのアピールになる。【松本会長】

- ・南口商店街は、毎週日曜は歩行者天国で、近所の農家が店を広げている。ただし、誰に話を通せばそこで店を広げてよいかが明らかになってないと思う。【委員】

⇒駅の中に、皆が各々相談・調整するという、一か所に情報が集まった場所があつてもいい。【松本会長】

- ・北口の農家では西友に収めているグループもある。JAが中心となっている。【委員】

- ・駅から遠い農家のなかには、駅前の魅力に執着していない人もいる。【委員】

⇒八王子の道の駅で苦労した話を思い出した。しかし、始めてみると盛況し、後から加入したいとなつてまた苦労している。やってみないと分からぬことはあるが、上手にやれば消費者にも農家にもどちらにとっても良い。清瀬の農業は大事な財産なので、うまく伝わって活用できればと思う。なかなか北口のような駅前に大きな空間は無いので、活用したい。【松本会長】

⇒調布駅前は甲州街道の馬車鉄道があったとき、馬を取り換えるために広場を作った。その広場が残ったまま鉄道に変わり、広い空間が残った。その広場でお祭りなどをやったりしていたが、駅が地下化したときに大議論になった末、市民の希望で広場を残しラグビーワールドカップのパブリックビューイングやコロナのワクチン会場として活用できた。あのような広場は後から作ろうと思っても難しい。また、北口の噴水は駅前の財産なので使い方を考えても良い。【松本会長】

- ・お祭りで、北口は流しの人がいなくなり踊れなくなったのだが、周囲で流しをやれば人が集まると思った。また、けやき通りは桜を植えてもらい、桜まつりにしたい。【委員】

- ・北口の噴水を利用するには商工会青年部で考えていた。来年度はライトアップイベントを計画している。商店街と協力しながらやりたい。噴水を修理するとお金かかるので、建造物をうまく利用したイベントや目を引くようなものができないか、そのような前向きな案ができるとよいと考える。また、エリアプラットフォームについては骨子がある程度決まってから議論すべきと考える。【委員】

- ・南口での野菜直売は、有志の方が行っている。スペースがあれば行いたい人はいると思う。【委員】

⇒場所があつたら行いたいと強く言っていただくと市もどうにかしなくてはとなる。農家の方たちも実際に行っていたり、空間があれば行いたいという可能性も見えはじめたので、ビジョンにも組み込めると思う。【松本会長】

- ・マルシェのような取り組みは沿線の様々なところで行われている。駅前に限らずマルシェなど地域の賑わいづくりに関わりたい方々は一定数存在すると思料しており、その取り組みが継続できると、まちがにぎわい、かつ関わる人の満足度も向上するのではないか。継続のための体制や費用など課題はあるが、企業や自治体としてどのように関わっていくかを意識してサポートの内容も考えていく必要がある。こういった取り組みを実施するにあたり、まずは駅周辺の場所を確保する必要もあるが、すぐに見つかなければ例えば新しくできる公園で試しにやってみるなど、実証実験的に実施してみるだけでも、どういう人が関わり、どういう課題があり、どういう人が興味を持つか把握できると思

う。また、取り組みによってまちに期待感や賑わいの動きが出て、試行錯誤しながら継続していくその先にハードとかみ合う時期が来ると思う。【オブザーバー】

・空間はほしい。ただ広場運営側へのお願いとしては、結局どこに問い合わせすればよいか分からないことがある。例えば、空き家が沢山あると言われても、ネットで探しても出てこない。クローズドな情報が多くてあきらめる人が多いので、そのあたりがオープンになっていると広場も活かしきれると思う。また、長期的に見て変化しやすい空間づくりがよい。噴水などモニュメントは動かせないので、屋根があるなどシンプルで使いやすいほうが嬉しい。【委員】

・多摩市の中公園の改修で市民の人が一日だけなにしてもよいワークショップをやった。たくさんハンモックを持ってきた人や、子どもの遊び場に、ふくらます大きな遊具を置いたり、卓球台を置いたり、パークライブショーを行った。毎年1度開催し、それをもとに改修案を考えた。中にはランタンをあげたい人がおり、無事にランタンがあがつたことを機に毎年お祭りのようにランタンをあげている。市民もやりたい案を持っているので、きっかけがあると良い。木陰に本棚や椅子を置き読書をした人がいたので、図書館を作り変える時に公園側に向いた窓ガラスを設置した。このように、試しに市民がやりたいことを持ち寄り、一回やってみることはきっかけになるかもしれない。【松本会長】

8. 閉会

○松本会長より閉会の挨拶

- ・将来像のキーワードをもう少し考えてみてほしい。また、振り返りを再度確認いただき、意見があれば出してほしい。【松本会長】
- ・人を集めるのはイベントなので、十分なスペースがあればイマドキだと思う。マルシェと言えば人が集まる。そのような場所があればよいと思う。清瀬の市報を見ているとワークショップのことが書いてあるが、参加したいがどこでやっているのかよく分からず、市民でもクローズドな感じだと思う。もっと駅前のオープンなスペースで誰でも参加可能にすれば、参加しやすく人が集まるのではと思う。【委員】
- ・賑わいは大事である。清瀬駅で足をとめてバスに乗ってくれる策を考えたい。以前、初めて駅前で出初式を行った際、バスのオペレーションも上手くいき、駅前に賑わいができた記憶がある。そのようなイベントは可能な限り協力をていきたい。【委員】
- ・出初式でタクシーに乗ったお客様からよかったですといった声も聞いた。一時的に乗り場を移動するのであれば乗務員から反対意見はない。数回であれば可能な限り協力をていきたい。やってみた上でどうするかを議論していければよい。新秋津は交通島を取り除いた。理由は、お酒に酔った人が昼間からむろするようになったため、タクシー・バスプールにした。自由に入れるようにすると、逆効果になることもあるのでこの点も検討は必要である。【委員】
- ・交通管理者として、交通の面で議題が出た際に、お話をできればと思う。【オブザーバー】

○事務局より連絡

- ・メール・郵送やいろんな手段で回答いただけるよう、またネットのアンケートフォームを作成し、将来像や地域のみなさまのまちづくりの関わり方を改めてアンケートで確認したい。近日中に連絡する。
- ・次の第4回は11月中に開催予定。ビジョンの素案をご確認いただく。次回開催まで期間が空くので事前にできた素案を送らせていただき、事前にご確認いただくことでご意見をいただきやすいようにする予定。【事務局】

以上